



CASSIOPEIA NKANI

Vol. 36 October 2024

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



2024年10月9日に開催されたチレンジェ一次レベル病院の一般公開日で、JATA（日本結核予防会）が活動の一環として支援している文化・演劇グループが地域住民や来場者にパフォーマンスを披露する様子。

チレンジェ一次レベル病院、初の一般公開日を開催

ルサカ州・郡の研修候補者、訪日研修オリエンテーションに参加

フォト・フォーカス



チレンジェ一次レベル病院、初の一般公開日を開催



チレンジェ一次レベル病院の一般公開日で、来賓の方々が各部門や関係者のブースを見学しています。

2024年10月10日、チレンジェ一次レベル病院(FLH)に太鼓と音楽が鳴り響きました。この日は、同病院初となる一般公開日が催され、地域住民や関係者が病院を訪れました。

このイベントの発端は、同病院がバランス・スコアカードに、一般公開日の開催を計画したことにあります。ルサカ州保健局(LPHO)とルサカ州行政局は、2024年5月に戦略的マネジメントと計画のためのワークショップを開催し、バランス・スコアカード(BSC)についても説明しました。バランス・スコアカードは、活動計画の立案と同時に、計画した活動の実施をモニタリングするツールでもあります。チレンジェ病院の幹部は、この研修を受け、病院経営におけるバランス・スコアカードの使い方や目的を学びました。病院管理者が日々職場環境で直面する課題に対処する問題解決のスキルも身につけました。

病院経営と感染予防管理(IPC)の日本人専門家であるニャンガ美知子氏は、イベントの会場で、チレンジェ病院が、アイデアを練る計画段階からそれを実現する実施段階になったことを喜ばしく思うと述べました。これは、チレンジェ病院のシニアマネジメントと施設の全スタッフによる類い希なるリーダーシップとチームワークの表れです。また、カシオペア・プロジェクトのチーフ・アドバイザーである村井真介氏も会場を訪れ、チレンジェ病院の成果とリチャード・ムウィラ院長のリーダーシップにお祝いの言葉を述べました。

病院長

一般公開日を開催した理由について、リチャード・ムウィラ院長(MS)は、病院がどのようなサービスを提供しているかを地域社会に見てもらい、一緒に働くパートナーに病院の仕事を見てもらう機会にしたかったと述べました。また、地域住民から病院のサービスに対して苦情が寄せられているため、チレンジェ病院で提供している実際のサービスを紹介したかったとも述べました。

ムウィラ院長は、ルサカ市の公立病院の中で初めて一般公開日を催した病院となったことに喜びをあらわとしました。また、チレンジェ病院が、戦略的マネジメント・計画会議を開催したときに、自分の病院のしていることを隠さずに、地域の関係者やパートナーに知ってもらおうというアイデアを思いついたと述べました。

ムウィラ院長は、今回は初めての一般公開日だったせいか、期待したよりも住民の反響は小さかったことにも触れました。今後は、このイベントにより多くの人々に参加してもらえよう、コミュニティとの関わりを強めていく必要があると指摘します。また、より多くの関係者がイベントに参加し、この病院が提供するものを目で実際に見てもらい共有するには、もっと早い時期に関係者に働きかける必要があるとも述べました。

次頁へ続く

このイベントへの期待について、ムウィラ院長は、「病院と地域社会との関係が改善されたと思う」と答えました。「一般公開日に病院へ来てもらえれば、病院が何を提供しているのか理解してもらえる。 そうなれば、この病院で提供していないサービスに不平を言われるなくなるでしょう。私たちは、一般公開日に参加してくれた開発パートナーや地域住民の方々に満足しています」。ムウィラ医師はまた、病院スタッフと地域社会との関わり合いが、患者満足度の向上につながると考えています。



リチャード・ムウィラ病院長が歓迎の挨拶をする様子。

郡保健局の診療専門家

一般公開日には、ルサカ郡保健局 (LDHO) の診療専門家 (HCC) であるチュールウェ・シアンチャパ医師が来賓として招かれていました。彼は、「チレンジェ病院が一般公開日を催したことを歓迎するとともに、病院の成長と地域社会との間に存在する複雑だが良好な関係の中に、大きな価値を示すイベントであった」と述べました。さらにシアンチャパ氏は、「病院と地域社会が一体となる試みは、最終的には、感染性疾患と非感染性疾患による疾病負荷の軽減につながる」と指摘しました。「一般公開日は、ルサカ郡でより頻繁に催されるべきであ

り、他の施設もチレンジェ病院を見習うべきだ」と述べました。

一般公開日は、ルサカ郡にとって強調すべきイベントであり、サービスの提供者たちが地域社会に対してどのようにサービスを届けていて、そのようなサービスがどうして必要であるかを参加者に思い起こさせるイベントとなりました。



オープンイベントのゲスト、シアンチャパ氏の挨拶の様子。

最後に、シアンチャパ氏は、チレンジェ病院に対して、一般公開日をより大規模で継続的なものとするのと、同病院の管轄である小地区にある他の公的医療施設をイベントに参加させることを呼びかけました。また、チレンジェ病院のマネジメント層に対し、チレンジェ病院へ患者を紹介してくる小地区の医療施設が、地域社会に提供できるものも紹介するように呼びかけました。そうすることで、地域住民は近隣の医療施設が何を提供しているかを知れるので、チレンジェ病院の混雑が緩和されると期待できます。

シアンチャパ氏は、リチャード・ムウィラ院長率いるチレンジェ病院のマネジメント層に対し、一般公開日の開催に向けた革新的な努力と、地域社会に積極的に貢献する精神を持ち続けていることに感謝の言葉を述べました。

チレンジェ郡議会議員

一般公開日の主賓はチレンジェ郡議会議員であるルーベン・ムウェンダポレ氏でした。ムウェンダポレ氏は、このようなイベントに立ち会ったのは初めてでした。彼はこの非常に重要なイベントの開催を歓迎し、「一般公開日は、医療施設が地域住民に正しい情報を提供し、提供するサービスに対する誤った情報を正すのにも役立つため、おそらく半年後には、より多くのイベントが開催されると思われ、楽しみにしている」と述べました。また、「地域の人々が医療施設を知り、誤った認識を改め、自信を持つきっかけにもなる」と述べました。



ゲストのルーベン・ムウェンダポレ氏 (チレンジェ地区議員) がイベントの公式オープニングを行う様子。

インタビューの中で、ムウェンダポレ氏は、救急部門と外来部門 (OPD) への懸念を示し、「献身的に仕事をこなし、さまざまな専門的バックグラウンドを持つ人々と一緒に働ける人材が必要です」と述べました。また、ムウィラ院長には、患者の不満を避けるために、この問題を専門に担当し、患者と一緒に働き、何が問題なのかを患者へ説明できるスタッフを配置できないかと質問する機会もありました。

ルサカ州・郡の研修候補者、訪日研修オリエンテーションに参加

JICAカシオペア・プロジェクトが計画する2025年1月の訪日研修「病院マネジメント：感染予防管理と医療機器管理」に参加すべく、ルサカ州・郡より計14名の研修生候補者が準備を進めています。2024年10月9日、このオリエンテーションを開催し、5つの第一次レベル病院（FLH）、ルサカ郡保健局（LDHO）、ルサカ州保健局（LPHO）の職員が参加しました。

候補者は感染予防管理と医療機器管理を専門としており、その内訳は、ルサカ州保健局から主任看護担当官1名、主任環境保健担当官1名、ルサカ郡保健局から、臨床ケア部長1名と医療機器担当官1名、対象一次レベル病院から、医師1名、

看護師2名、環境保健担当官1名、医療機器担当者5名です。

カシオペア・プロジェクトでは、2022年から、計3回の訪日研修を実施してきました。研修生はシニアマネジメントから実践者まで戦略的に選ばれています。例えば、これまでの訪日研修修了生は、2022年は州保健局長と5名の病院長、臨床ケア専門家、主任環境保健担当官、2023年には州保健局から公衆衛生専門家と主任看護担当官、対象5病院の看護部長と病院事務が、2024年は5名の計画担当と5名の薬剤師でした。

プロジェクトは、5つの対象病院において、ガバナンス体制の改善を通じた病院運営

マネジメント能力の強化を目標としています。次回の訪日研修は、感染予防管理と医療機器管理に従事する実践者のモチベーションを高め、各病院のシニアマネジメントのコミットメントと支援を引き出せる実践的で実現可能な行動計画を立案することが期待されています。行動計画で大事なものは、各部門のマネジメントのスタイルと病院のビジョンを一致させることです。参加者は、日本の病院を見学し、病院マネジメントの実践を学びます。日本で学んだことを参考に、帰国後にすぐはじめられる行動計画を立案することを念頭におきながら、今準備を進めています。



1月開催予定の国別研修のオリエンテーションがルサカ州保健局で開催されている様子。

PHOTO FOCUS



プロジェクトスタッフが2025年国別参加者の申請書記入をサポートしている様子。



チパター次レベル病院のスタッフが手術部位感染 (SSI) レビュー会議に参加している様子。



プロジェクトの村井チーフアドバイザーとニャンガ専門家、チレンジェー次レベル病院オープンデーイベントに参加している様子。



2024年10月10日に開催されるオープンデーに向けて準備を進めるチレンジェー次レベル病院のスタッフ。



国別研修オリエンテーションでのチレンジェー次レベル病院のウシバントウ氏、ニャンガ専門家、緒方業務調整。



オープンデーイベントを楽しむチレンジェー次レベル病院のスタッフ。



医療機器関連のオリエンテーション会議に参加するチパター次レベル病院の各部門責任者。

編集・デザイン: コンベ カパタモヨ

編集: 緒方 敬

編集長: 村井 真介

連絡先

村井 真介 ルサカ郡病院運営管理能力強化プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka,
10101, ZAMBIA

Cell: +260 765 192 865 (official)